

『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

第3号 (平成 27 年 7 月 17 日号)

編集・発行：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当

第3回研究会を開催しました！

第3回研究会を7月17日（金）に自治人材開発センターで開催しました。今回の研究会では、①牧瀬先生の特別講義、②「人口減少社会突破戦略」の意味（言葉の定義）の共有、③事業案の検討（前回からの続き）を行いました。

私たち研究会の研究テーマである「人口減少社会突破戦略」の言葉の意味を研究員全員で共有する作業では、リーダーを中心に①私たちが研究する「人口減少社会」とはどのような社会か、②「突破する」とはどのような状態になることか、③何を「戦略」とするかについて全員で意見交換を行いました。最初はそれぞれのイメージがバラバラでぼんやりとしていましたが、意見交換を行いながら輪郭をつけ、色づけを行っていった結果、最後は研究会としての定義をある程度まとめることができました。今後は、この共通認識のもと研究を深めていきます。（「人口減少社会突破戦略」の定義については、資料がまとまり次第、皆様にお示しいたします。）

事業案検討 ☆☆☆ 自然増チーム（チーム名：『NATURES』）☆☆☆

私たちのチームでは、出会いから子育て（もう一人多く生みたいと思える支援）までをカバーした包括的な事業を提案したいと考えています。今回は「結婚支援」部分に焦点をあてて意見交換を行いました。意見交換では、「世話焼きおじさん・おばさん」の事業を例として、結婚への一歩を踏み出せない、出会いの機会が少ない独身者を繋げる仕組みについて話しあったほか、地域に住む人たちの力を借りたカップル支援や、地域で祝う結婚式などについても話しあいました。また、メインターゲットをどこに置くか、どこをモデル地域とするかなどについても意見交換を行いました。



事業案検討 ◆◆◆ 社会増チーム（チーム名：『人口増やしな埼玉 いらっ彩』）◆◆◆



まず、人が住みたいと思う理由にはどんなことが考えられるかを皆で意見交換しました。もともと求心力のある東京との比較を行いながら、埼玉の優位な部分（間取り等の居住環境、治安など）を確認していきました。

また、今後進めていく事業案の検討で「ターゲット層をどこに設定するか」についても話しあい、東京や隣接県から人を呼び込む、出生率の向上に期待できる20～30代をターゲットにするなどの方向性を共有しました。

事業案検討 ※※※ 雇用増チーム（チーム名：『雇用プラス1』）※※※

今回のチーム討議では、まず『「みんなが豊かになる雇用」を増やすためにはどうしたらよいか』をテーマに意見交換を行いました。話しあいの中で、若者の雇用を支援する政策を考える上で、シニア世代の力を活かす取組を組み込んでいく必要があるとの認識で一致しました。また、今後の事業検討の方向性をチーム内で整理し、生産性向上や女性・若者、観光など、事業検討の方向性を7つに定め、研究会としての狙いである「出生率を上げる」「若年人口の転入促進」に繋がる事業案を次回から検討していくこととしました。



今回の牧瀬先生「特別講義」！

本研究会では研究会の開催に合わせ、コーディネーターの牧瀬先生による特別講義を実施しています。3回目となる今回は、「政策づくり」に役立つ以下の2テーマについて御講義いただきました。

★★ 特別講義①『情報収集の仕方・データの捉え方』★★

政策づくりのための情報収集の方法とデータの読み解き方について、グループワークを行いながら分かりやすくお話いただきました。まさに「目から鱗」の内容でした！

★★ 特別講義②『政策フレームワークの紹介』★★

政策づくりを進める際のフレームワーク（思考の枠組み）について学びました。ロジカルシンキングや思考の深化（進化）方法、合意形成の重要性を改めて学ぶ良い機会となりました。



【お知らせ】

本研究会の「牧瀬先生特別講義」は県内自治体で政策立案に携わっている方などに公開しています。聴講を希望する方は「彩の国さいたまづくり広域連合 政策研究担当（電話：048-664-6685）」までお申込みください。

※1 次回の講義は8月28日（金）を予定しています。（研究の進捗により中止となる場合もあります。）

※2 座席数の関係で希望する方すべてが聴講できるとは限りません。あらかじめ御了承ください。

研究会の仲間を紹介します♪（第2回）

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。

岡本 行弘（自然増チームサブリーダー）



所属：坂戸市子育て支援課

「他の研究員の皆さんと一緒に、少子化社会の突破口を開く政策提言ができるよう頑張っていきます。」

鈴木 貴子（社会増チームサブリーダー）



所属：武蔵野銀行営業統括部

「いろいろな年齢、職業の方と学ぶことのできる共同研究は貴重な経験です。積極的に参加し、課題解決力を磨きます！」

望月 太樹（社会増チーム）



所属：鶴ヶ島市秘書政策課

「研究員の皆さんと楽しく研究を進めています。今後に繋がる成果が残せるよう、皆と力を合わせて取り組んでいきます。」

関根 祐貴（雇用増チーム）



所属：埼玉県高齢者福祉課

「研究員全員で議論を深め、県民の方々にとって効果的な政策を立案できるよう頑張っていきます！」

次回の研究会は・・・（予定）

今回は、9月に迫った中間報告会（日程：H27.9.18、会場：自治人材開発センター）に向けての準備を進めていきます。発表内容をどうするか、資料はどういったものを作成するかなどについて決定します。あわせて、年度末に最終的にまとめる「研究報告書」の内容（項目だて）についても話し合い、研究の道筋をつける作業を進める予定です。また、前回に引き続き、各チーム（自然増、社会増、雇用増）でそれぞれの事業案も検討していきます。

～今号の最後に事務局から～

中間報告会まであと2か月となり、研究会も次第に熱を帯びてきました。中間報告会でどんな発表があるか今からすごく楽しみです。さて、この度、本 report 等の研究会情報を広域連合 HP と Facebook に掲載いたしました。いろいろな方にご覧になっていただきたいと思います。（これまでの研究会情報はコチラから↓↓↓）

（広域連合 HP <http://www.hitozukuri.or.jp/>）（Facebook <https://www.facebook.com/jinkougensyoutoppa>）

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp